

赤平食を考える会

「第13回札幌大通ふるさと市場」参加準備会発足!!!

＜「赤平市が出店していない！」～赤平出身札幌在住者の声～＞

毎年9月上旬、札幌大通公園を会場に、「札幌大通ふるさと市場」(主催：札幌市・札幌広域圏組合)が開催されています。道内各自治体の名産特産品の販売や紹介されているこのイベント。多くの観光客や道民が足を運んでいるようです。

そこに赤平市からの出店がないようだ、赤平出身で札幌在住の方からの声が支援センターへ届きました。

＜“地産地消”を一つのテーマとして活動中の支援センター＞

支援センターで運営している「喫茶ラビカ」は、“地産地消”を一つのテーマに活動しています。営利を目的とするのではなく“地産地消”を発信しつつ、“市民の憩いの場”となるべく邁進中の「喫茶ラビカ」。

支援センター会員の全体会議(毎週月曜夜開催)でも、“地産地消”や“食”に関する話題が自然と出てきます。私たちが“赤平のうまいもの”を発明しようじゃないか・・・と。

＜“赤平のうまいもの”を作ろう＞

赤平を愛する者として、既存の赤平特産品の菓子等を道内外の方へ知ってもらいたいという思いもあります。それと同時に何か私たちの手で、“赤平のうまいもの”を発明しようじゃないか！赤平でとれた野菜なんかを使えたら最高じゃないかと考え、専門家や食に関して、積極的に活動している皆さんにも声かけをし、懇談を行うことになりました。

＜拡大全体会議“赤平食を考える会”開催＞

市内で農業に携わり支援センターの活動にも協力をいただいている佐藤よう子さん。また市内で若者の目線で幅広く赤平を元気づける活動をしている植村真美さんにお越しいただき、支援センター全体会議で、「札幌大通ふるさと市場」への参加を視野に入れての話し合いを行いました。

私たち支援センターの基本理念は、「場づくり」「橋渡し」です。ここで大切なのは、支援センターが主体となり、商品開発するのではなく、色々な方々と協力・活動(場作り)、支援センターと個人や団体との連携(橋渡し)することも、この準備会の大きな意義だと考えております。

さて、全体会議の中で、赤平でとれる野菜を生かしたメニューや赤平を意識したメニューを考案しました。



- ・かぼちゃまんじゅう
- ・かぼちゃ団子
- ・かぼちゃゼリー
- ・かぼちゃ寒天
- ・いも団子
- ・赤ピザ

赤平野菜を使用します。

⇒赤ピザの赤は、赤平の赤。どのようなピザになるのでしょうか？！

＜あなたも「札幌大通ふるさと市場」参加準備会に参加しませんか？＞

次回の“赤平食を考える会～札幌大通ふるさと市場”参加準備会では、上記メニューの試食会を行います。興味のある方、メニューアイデアをお持ちの方は下記までお知らせください。

☆次回会議 2006年1月23日(月) 午後7時から

☆場 所 赤平市公民館

☆お問合せ NPO法人赤平市民活動支援センター TEL・FAX 32-3888